

C-a 双方向コミュニケーション

双方向コミュニケーション

HORIBA は正当な企業価値を市場価値（株価）に反映させるために、「正確」「迅速（適時開示）」「公平」をモットーに、オーナー（株主）ならびに投資家の皆様へ情報提供活動（IR活動 = Investor Relations）を行っています。オーナーの皆様には、期ごとの報告書をお手元にお届けするとともに、株主総会を土曜日開催し、株主懇談会を通して経営陣と直接お話いただける機会を設けています。個人投資家の皆様には、正確な情報を迅速に提供するためにホームページの更新頻度を向上させるとともに、各種情報冊子の内容充実を心がけております。また、会社説明会なども積極

的に開催し、HORIBA ファンになっていただけるよう経営方針や業績などをわかりやすく説明することに努めています。機関投資家の皆様には、社長ならびに経営陣による決算説明会（年2回）、個別投資家訪問、海外IRをおこなうなど、「フェイストゥフェイス（Face to face）」のコミュニケーションを意識して積極的に活動しています。

年間300回以上の面談や、展示会での製品説明会などを実施し、HORIBAの経営理念や戦略、業績などの詳細な情報提供を通して双方向コミュニケーションに努めています。

配当政策の変更

～連結利益を基準とした還元政策へ～

2012年12月期までは、㈱堀場製作所個別純利益の30%を配当としてオーナーの皆さまに還元する配当政策を採用してきましたが、2013年12月期以降は、企業規模拡大や国内外のグループ会社収益力向上などに対応し、HORIBAグループ連結純利益の30%を目処に、「株主総還元額」（配当金額 + 自己株式取得金額）としてオーナーの皆さまへの配分に充てる方針とし、より適正な配当政策へと変更しました。